

第10回中四国糖尿病研修セミナー

テーマ:「改めて糖尿病療養指導を見直す～患者中心の個別療養指導～」

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第10回中四国糖尿病研修セミナーを下記の要領で開催させていただくこととなりました。本セミナーは、糖尿病に携わる医師、歯科医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療養士、歯科衛生士等の皆様に、糖尿病の診療や療養指導に必要な最新の情報を提供し、参加される皆様方の知識や技能の向上に寄与することを目的として、中四国各地区で開催されてきています。

我が国では従来から“患者中心の個別化医療”の重要性が認識されていますが、欧米でも“患者中心のアプローチにより個別化した管理”を行うことが推奨されるようになりました。そこで、今回のセミナーでは、「患者中心の個別療養指導」をキーワードに、プログラムを企画いたしました。

ご多忙とは存じますが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<プログラム>

8:30 受付開始

9:00～9:05 開会挨拶

9:05～9:10 支部長挨拶

9:10～10:05 特別講演(55分)

「糖尿病の病態と治療～最新の話題」

座長: 山口大学大学教育機構保健管理センター所長 奥屋 茂

演者: 川崎医科大学総合内科学1特任教授 加来浩平

10:10～11:10 実践報告(60分)

「地域連携から考える療養支援」

座長: 山口労災病院副院長 矢賀 健

報告者: 周東総合病院地域医療福祉連携室室長 佐川京子

11:15～12:10 教育講演1(55分)

「糖尿病患者が長生きする?!個別運動処方のポイント」

座長: 山口大学医学部附属病院栄養治療部副部長 有富早苗

演者: 大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学科准教授 佐藤真治

12:20～13:20 **ランチョンセミナー**(60分)

「チームでの療養指導から個別療養指導まで」

座長： 愛媛大学大学院医学系研究科 看護学専攻臨床看護学・教授
中村慶子

演者： 創価大学看護学部看護学科成人看護学准教授 添田百合子

13:30～14:30 **教育講演2**(60分)

「個別化したセルフマネジメント患者教育の実際:どのようなプロセスで結果を導くのか」

座長： 周南市立新南陽市民病院院長 松谷 朗

演者： 広島大学大学院医師薬保健学研究院成人看護開発学教授
森山美知子

14:35～16:15 **シンポジウム**(100分)

「チーム医療から生まれる個別療養指導の実践と課題」

座長： 山口県立総合医療センター内科系主任部長 井上 康
周東総合病院糖尿病認定看護師 高丘瑞穂

1.糖尿病教育入院におけるチーム医療から個別療養指導を考える

労働者健康福祉機構山口労災病院

「当院における糖尿病教育入院-医師の立場から」 松原 淳 医師(10分)

「看護師の立場から」 肥田陽子看護師(10分)

「栄養士の立場から」 菊竹美和 管理栄養士(10分)

「薬剤師の立場から」 梅野尚生薬剤師(10分)

討論(10分)

2. 糖尿病透析予防管理のチーム医療から個別療養指導を考える

社会保険下関厚生病院

「当院における透析予防指導診療」 野田 薫 医師(4分)

「外来看護師がつなぐ透析予防チーム」 阿座上 操看護師(6分)

「チームで活かせる食事記録分析」 福田裕子 管理栄養士(10分)

「透析看護認定看護師が行う透析二歩前からの予防指導」 新田靖之 (認定)看護師(10分)

討論(10分)

3. 総合討論(10分)

16:15～16:20 閉会挨拶